

良寛

相馬御風



良寛遺墨『自辞白蓮精舎会』(左幅)

良寛遺墨『自辞白蓮精舎会』(左幅)

早稲田大学入学当時の相馬御風(19歳)

相馬御風書『道無限』

《国登録有形文化財》出雲崎町良寛記念館 特別企画

『良寛と相馬御風展』

御風没後七十周年を待ち受けて

会期 令和元年 10月1日～11月15日

◎ギャラリートークお茶会と雅楽演奏会の二案内

場所 良寛記念館展示館(お茶会と雅楽演奏会は中庭)

日時 10月13日(日) 11時30分～13時30分

・お茶会と雅楽演奏は11時30分～12時30分

・ギャラリートークは13時00分～13時30分

解説 金子善八郎氏(御風会理事)

定員 定員制限無(お茶会と雅楽演奏会のみでも参加可)

参加費 無料(作法などはございません。お気軽にご参加ください。)



◎雅楽演奏「獅子吼雅楽会」代表 安藤栄寿 会長より
獅子吼雅楽会は平成十八年、現代の忘れかけた日本の感性を呼び起こすべく、伝統音楽を愛する人たちが発足しました。雅楽の響きを身近に、多くの方に触れて欲しいと願い、音楽祭・イベント・社会福祉施設・教育機関などで演奏しています。この度は、催事名「清秋の雅楽・平調の響」と題し、季節を愛で千年百年と時を超え、自己を超えた世界観を抱き、諸行無常二つとないこの瞬間しか出会えない和の響きに触れ楽しんで頂きたいと願い、演奏いたします。

※雅楽はユネスコ「人類無形文化遺産」に登録される、日本最古の音楽文化です。

◎お問合せ

〈国登録有形文化財〉

出雲崎町 良寛記念館

The Ryokan Memor'ial Museum

新潟県三島郡出雲崎町大字米田一番地

TEL 0258-178-12370

検索

良寛記念館



◎観覧料
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 10月無休、11月は毎週水曜

入館料 一般 4000円(3000円)

高校生 2000円(1500円)

小・中学生 1000円(700円)

※()内は20名以上の団体料金
障がい者手帳をお持ちの方は半額

当館はバリアフリーを完備しております。補助が必要な方は、スロープ脇のインターホンで係員をお呼びください。多目的トイレは駐車場にございます。

◎三館共通割引 長岡市良寛の里美術館、燕市分水良寛史料館いずれかの入館券の提示で1000円割引。

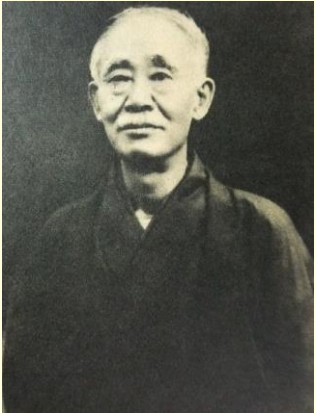
主催 出雲崎町教育委員会 協力 糸魚川市教育委員会 糸魚川市相馬御風記念館

相馬御風没後 70 周年を迎えるにあたり

相馬御風は詩人、歌人、書道家、思想家として幅広く活躍した人物でした。関東から新潟に帰郷後は、新潟県の文化人を育て、新潟の文化躍進に大きく貢献しました。その一環として、新潟県の偉人発掘にも尽力し、特に良寛研究を深め、良寛研究の第一人者として全国にその名を広めました。そんな新潟県の文化の功労者である御風は来年で没後 70 周年を迎えます。

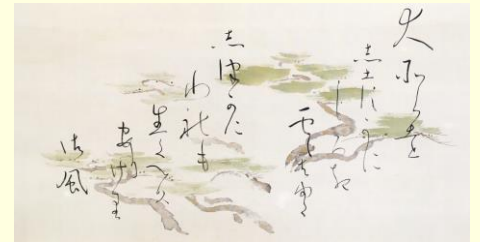
この度、相馬御風没後 70 周年を迎えるにあたり、相馬御風とその芸術の再考を図ると共に、御風が追い求めた良寛の秀逸作品をご紹介します。展示作品には糸魚川市相馬御風記念館より御風作品とその資料等 13 点を出品していただきました。良寛作品には新寄贈作品 2 点を初展示致します。

この機会に是非、相馬御風と良寛の芸術をご観覧ください。



相馬御風 略歴

- 1883 年（明治 16 年）新潟県糸魚川市に生まれる。本名 昌治。
- 1906 年（明治 39 年）早稲田大学英文科を卒業。翌年、野口雨情・三木露風らとともに「早稲田詩社」を設立する。自然主義評論家として活躍する。
- 1916 年（大正 5 年）糸魚川市に帰郷後、良寛研究に没頭する。
- 1918 年（大正 7 年）名著『大愚良寛』を刊行。
- 1919 年（大正 8 年）安田靫彦が『五合庵の春』制作のため新潟を訪れ出雲崎町の佐藤耐雪、鳥井儀資と共に五合庵を案内する。
- 1938 年（昭和 13 年）糸魚川市で翡翠を発見し、伝説の奴奈川姫の翡翠の首飾りが国産であることを立証する。
- 1950 年（昭和 25 年）5 月 8 日、脳溢血のため糸魚川市の自宅で命終。



相馬御風書『大ぞらを』（相馬御風記念館所蔵）
相馬御風の代表歌。「大空の雲のように、雄大に静かに生きたい」という、御風の願いが詠まれている。

土田家と良寛遺墨『蘭風亭』について

西蒲原郡燕町小高村（現燕市）の名主であった土田家に良寛が逗留し、庭に咲く蘭の花の美しさに感動して書いたと伝わる。

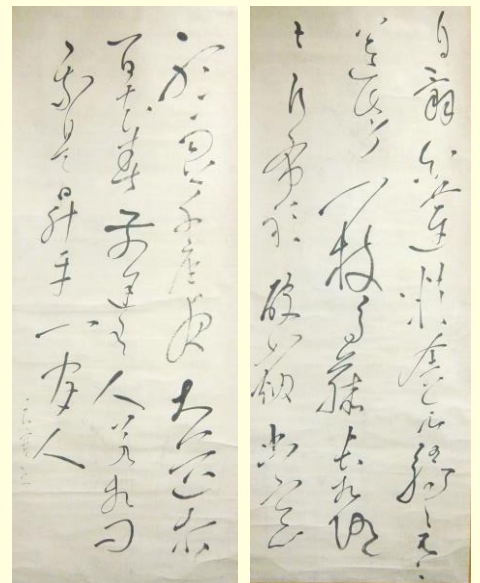
良寛遺墨『蘭風亭』はこれまで、土田家の家宝として一族以外が見ることはなかった。そのため良寛伝記、遺墨集にも良寛と土田家そして『蘭風亭』についての記載はない。当遺墨が良寛足跡の新発見となり、この度の展示が初公開となる。

※土田家について（土田家親族より）

土田家は小高村（現燕市小高）草創期の長で、寄贈者の土田善彦氏は武埴の姓の殖生田 28 世。遠祖は土生田姓であったが、豊臣秀吉の命令により土田姓となる。姓の「土」の隣の「丿」は「生」の字の略字と伝わる。



良寛遺墨『蘭風亭』（千葉県在住土田善彦氏寄贈）
良寛が土田家に逗留した詳細な時期は不明であるが書体から良寛 60 代半ば（1822 年）以降だと考えられる。



良寛遺墨『自辞白蓮精舎会（双幅）』（神奈川県在住岸田克彦氏寄贈）

良寛が岡山県玉島の円通寺を辞して越後に帰ってきてからの、何ものにもとらわれない、自然に生きるさまを詠んだ作品で、その双福の大作。
過去に『墨美』（1972 年発行）で良寛研究家の原田勘平氏が未発表作品として発表した作品。その後、岸田氏の熱意により、原田氏の仲介で岸田氏の所蔵となる。本年度 5 月に良寛記念館に寄贈される。

◎ギャラリートークお茶会と雅楽演奏会のご案内

- 場 所：良寛記念館展示館
- 日 時：10 月 13 日（日）11:30～12:30（お茶会と雅楽演奏）
13:00～13:30（ギャラリートーク）
- 解 説：金子 善八郎氏（御風会理事）
- 定 員：なし（お茶会と雅楽演奏会のみでも参加可）
- 参加費：無料（作法はございませんので、お気軽にご参加ください。）



雅楽演奏—獅子吼雅楽会
催事名『清秋の雅楽平調の響』



○交通のご案内

- 【電車】長岡駅から信越線柏崎駅乗換え越後線出雲崎駅下車、出雲崎車庫行バス（約 7 分）にて良寛記念館前下車、下車後徒歩（約 5 分）
- 【バス】長岡駅前発（中永線）出雲崎町車庫行（65 分）、柏崎駅発（海岸線）出雲崎車庫行（60 分）良寛記念館前下車
- 【車】北陸自動車道（西山 I.C より約 15 分、長岡北スマート I.C より約 20 分）
駐車場・大型 2 台/普通車 10 台

○良寛記念館周辺略地図



○お問い合わせ先

＜国登録有形文化財＞
出雲崎町 良寛記念館
The Ryokan Memorial Museum
〒949-4342
新潟県三島郡出雲崎町大字米田 1 番地
TEL. 0258-78-2370 FAX. 0258-78-4748
URL <http://www.ryokan-kinenkan.jp>

良寛記念館

当館はバリアフリーを完備しております。補助が必要な方は、スロープ脇のインターホンで係をお呼びください。多目的トイレは駐車場にございます。